

## <改善報告書検討結果（東北学院大学）>

### [1] 概評

2002(平成14)年度の大学基準協会による相互評価に際し、問題点の指摘に関する助言として12項目、勧告として1項目の改善を求めた。今回提出された改善報告書からは、貴大学が、これらの助言・勧告を真摯に受け止め、意欲的に改善に取り組んでいることを確認できる。また、多くの項目についてその成果も満足すべきものである。

ただし、収容定員に対する在籍学生数比率について、改善報告書によると、文学部歴史(旧 史)学科、経済学部経営(旧 商)学科、教養学部言語文化学科(旧 教養学科言語科学専攻)および情報科学科(旧 教養学科情報科学専攻)は、1.25を超えて高い状態が続いている。なお、いっそう上記比率の適正化に努力することが望まれる。

### [2] 今後の改善経過について再度報告を求める事項

なし

以上